

2023年12月期 第4四半期及び通期 決算説明会 質疑応答要約

2024年2月14日に開催した2023年12月期 第4四半期及び通期 決算説明会の質疑応答要約について、下記のとおりお知らせいたします。

記

Q1：まずは24年度売上を100億円近い規模に戻すとのことですが、今後の中長期での成長イメージはどのようにお考えでしょうか。

A1：元々100億円近くの規模があったので、近いところに戻せてきているかなというところでございます。

セカンダリー事業は当社の強みですので、強みをベースとしてミルフィーユ型で各事業の売上と利益を追加しつつ、中長期に関しましてはバランスを変えながら進行できればと思っています。

中長期で目標とする売上は申し上げにくいところですが、現在の売上規模でご期待に添えているとは思っておりません。何よりも持続的に売上が成長していく構造を作るところに期待をいただいていると認識しておりますので、その構造を作り継続していく中で次の成長を考えるという、市場に求められるような売上の成長構造というものを、着実に作っていかねばと思っています。

そういった意味では非常に幅広く仕込みができておりますので、展望というよりは1つ1つ具現化した際にご報告し、しっかりと実行できているところをご理解いただけるようなコミュニケーションに集中し進めてまいりたいと思っています。

Q2：「B.LEAGUE#LIVE」は好調とお見受けしました。以前他競技への展開というお話もありましたが、バスケットでの成功は他競技展開の際にも再現性があるのでしょうか。

A2：再現性はあります。なぜ断言できるかと申し上げますと、世界各国のファンタジースポーツのサービスを見た際に、競技が変わって、KPIが根底から変わるということは起きていないからです。極めて横展開がしやすいビジネス構造というのがファンタジースポーツだと思っています。

そういった意味では仕込みに時間をかけて、しっかりとコアの構造が作れてきておりますので、しっかり踏めば伸びるところまで持っていくつつ、他競技への展開を進めてまいります。

また、他競技への展開だけにとどまらず、スポンサースキームという形でやっているビジネスモデルに、ファンタジースポーツの文脈は一切壊さず、別のマネタイズスキームというものを加えていきます。各スポーツファンの皆様がその日の試合が楽しくなるようなコンテンツを追加することでマネタイズ力を強化し、1つ1つの幹を太くしていくことができると考えています。

基本構造のKPIがしっかりしていますので、横展開をしやすいのがファンタジースポーツ事業の長所でございます。北米市場を見ていると新たな手法というのはどんどん出てきております。コア部分は再現性が高いものでございますので、我々もそれにならい、追いつけ追い越せでしっかりとコンテンツを進化させ、且つ対象とできるお客様の競技を増やしていけ

るような2024年度にしていきたいと思っております。

質疑応答要約は以上です。

なお、決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/kkZPudkenq0>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR担当

お問合せフォーム：<https://www.mynet.co.jp/ir/contact>